

第 33 回 燃料デブリ取り出し専門委員会 議事要旨

日 時：令和 2 年 12 月 3 日（木） 10：00～12：00

場 所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 Web 会議システム

1. 東京電力におけるエンジニアリングの状況について

東京電力からエンジニアリングの状況について説明した。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

2 号機/X6 ペネ内堆積物調査の結果について

- X6 ペネ内堆積物の除去に際しては、X6 ペネ内部の状況把握に努めるとともに、堆積物除去後の作業への影響についても十分留意することが必要である。

2. 次期研究開発計画について

NDF から、次期研究開発計画について説明した。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

- 燃料デブリ取り出しに関わる研究開発と廃棄物対策に関わる研究開発との連携や、燃料デブリ取り出しに関わる研究開発の中での各プロジェクト間での連携に加え、過去に実施したプロジェクトの成果も踏まえて、合理的に研究開発を進めるべきである。また、研究開発を通して得られた知見を体系的に管理していくことも必要である。
- 開発成果の実用に先立ち、安全評価の観点からの確認も必要であるため、安全評価も念頭に研究開発を進めることが重要である。
- 遠隔装置の開発においては、装置本体の開発とともに、装置の運用をサポートする周辺システムや、周辺システムを導入するための環境整備も含め、全体を俯瞰して進めることが肝要である。

以上